

副会長就任挨拶



副会長 田名 毅

今期の執行部におきまして副会長に就任致しました。安里哲好会長執行部を支えるべく、与えられた職務を果たせるよう頑張りますので宜しくお願い致します。就任にあたり、これまでの沖縄県医師会における主な活動を紹介させていただきます。

私が沖縄県医師会の仕事を始めたのは40歳の時に当時の比嘉實沖縄県医師会医学会長のもとで医学会副会長になってからでした。これまで沖縄の医学、医療を築き支えてきた先輩方から沖縄県医師会医学会の歴史、その医療界における意義について学びました。分野を超えて各専門の分科会の先生方と意見交換出来る貴重な機会をいただきました。その後、沖縄県医師会医学会総会の活性化、県内臨床研修病院の初期研修医の育成を目的とした沖縄県医師会医学会賞（研修医部門）の創設に関わりました。

その後48歳の時に理事に就任してからは最初に災害医療を担当しました。東日本大震災の際に沖縄県医師会医療支援班として大槌町で活動した経験を活かすべく、県内の医療従事者向け災害医療研修会を開催しました。九州医師会連合会の救急・災害医療担当理事連絡協議会、九州ブロック災害医療研修会で九州各県の先生方と親交を深めました。また、日本医師会の救急災害医療対策委員会にも九州枠の委員として参加する機会を得て、全国の災害担当の先生方とも情報交換を行ってきました。その中で熊本地震が発生しましたので、熊本県医師会の災害医療担当理事の先生、日本医師会とも情報交換しながら熊本市南区の臨時災害医療コーディ

ネーターとして活動しました。沖縄県医師会のみならず、九州医師会連合会、日本医師会での経験は自分の視野を広げることにつながっていると感じています。

また、2015年に開始した医療事故調査制度を担当しています。県内の医療機関で医療事故が発生した際に支援団体である沖縄県医師会からの外部委員として、それぞれの案件に関わる専門科の先生方とともに医療事故調査委員会に参加し委員会の進行役を務めています。これまで33件の案件に対応してきましたが、その中で学んだのは医療提供の基本である医療安全に取り組む重要性です。そして、それぞれの場で病院の院長、副院長先生方とお話する機会をいただけたことは私にとって財産になっています。コロナ禍における医師会の対策では、これらの病院長の先生方とのネットワークを活かしLINEを活用しながら病院間の迅速かつ円滑な情報交換に努め、沖縄県医師会の新型コロナウイルス感染症対策本部のメンバーとして活動してきました。

私は琉球大学医学科の4期生です。今は多くの琉球大学の先輩、後輩が沖縄の医療、医学の中で重要な働きを担っています。琉球大学が出来るまで沖縄の医療を支えてきた先達の先生方とこれからの琉球大学、他大学出身の先生方との間を繋ぎ、さらなる発展に導くことが57歳という年齢で副会長をさせていただく私の使命と考えています。沖縄県医師会会員の皆様、今後ともご指導、お力添えを何卒宜しくお願い致します。